

新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

昨年は、元日に発生した令和6年能登半島地震に始まり、8月の宮崎県日向灘を震源とする地震に起因する南海トラフ地震への注意喚起情報の発表、台風10号による被害、さらには9月の令和6年奥能登豪雨災害など、多くの災害に見舞われた一年となりました。特に、能登半島では、地震の復旧・復興も進まない中、豪雨災害も重なり、被災地の皆様のご心労はいかばかりかとお察ししております。一日も早く平穏な日常が戻りますよう心よりお祈り申し上げます。

さて、今年度も本会では、ユニバーサルデザインフード®に係る多くの事業活動を進めているところです。昨年実施した事業の一つには、UDF®の日プレゼントキャンペーンがございました。同キャンペーンの大きな趣旨は、在宅介護世帯などのご家族へ向けて、会員各社提供のUDF製品を実際にお試しいただく機会の創出を見込んだ施策として、設立以来継続しているものです。近年では、将来の需要を見込んだ幅広い世代への認知率向上も趣旨に加え、電子ギフト券や電子介護支援券などもプレゼントに含め、UDFに対する関心の喚起を図る努力をしているところです。また、今回の同キャンペーンでは、本会公式LINEを活用しましたが、「LINEスタンプ」を初めて作成いたしました。スタンプのモデルには協議会設立20周年時に公募・作成した本会公式キャラクターの「かいごちゃん®、ささえちゃん®」を起用いたしました。同スタンプは50,000件分の用意をすべて使い尽くし、この効果もあって5万名以上の方々に「友だち」登録をいただくことができました。ちなみに、それらスタンプは提供期間中合計で446,235回使用されたとの報告を受けております。

在宅介護世帯の皆様へのUDF周知機会といたしましては、他にも、訪問看護ステーションを介した活動も実施しております。本事業では、食事介護に対して経験豊富かつ著名な医師や看護師に講師を依頼し、在宅へ接触する主な職種である訪問看護師を

対象に、UDFや介護食品の活用に関する基礎から実践までのオンラインセミナーとして開催いたしました。さらに本事業では、今後これらセミナーを受講した訪問看護事業所からの要望を受け、UDF製品のサンプリングを通じた事業所単位での試食勉強会の開催を促し、これらの体験を通じて在宅介護世帯へ話題提供いただくことを予定しております。本事業は、過年度において一定の効果を得たことから、本年度は規模を拡大し継続しているところです。

本会では、日頃の普及活動を通じてユニバーサルデザインフードをより多くのお客様にお知らせしながら、安心して日常の食生活の中でご利用いただけるよう、会員企業とともに一層の努力を行ってまいります。

最後になりましたが、関係各位へは益々のご支援ご協力をお願いするとともに、本年が皆様にとって良い年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

2025年元旦

日本介護食品協議会
会長 森 佳光

【会議、催事等の予定】

1月27日(月) 第4回容器包装研究会

【UDF商品登録状況(2,106品目・11月末現在)】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	14	7	1	60	9	91
冷凍食品	322	239	784	30	0	0	1,375
常温食品	234	40	220	144	2	0	640
合計	556	293	1,011	175	62	9	2,106

【会員の異動(11月)】

計97社(11月末現在)。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<https://www.udf.jp/>